



第
2530
地区

福島西ロータリークラブ会報

会長 高 梨 哲 男
幹事 高 橋 智 弘

奉仕プロジェクト
委員会委員長 渡 辺 敬 藏

会報写真担当 梅 津 一 匡

令和5年5月15日(月) 第31回 通算第1659回例会

・例会日/月曜日12:30 ・例会場/ウェディング エルティ ☎(024)535-6188

事務所/福島市万世町2-5 福島銀行本店9F ☎(024)536-1010・FAX(024)536-1011 Eメール/f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

第31回例会 点鐘12:30

- ◇開会点鐘 高 梨 哲 男会長
- ◇ロータリーソング「我らの生業」
ソングリーダー 佐 藤 卓 立 会員
- ◇お客様並びにビジター紹介
- ◇会長あいさつ 高 梨 哲 男会長



最近のRCを取り巻く環境についてチョット申し上げます。

既にご存知の方も多いと思いますが、某例会場の閉鎖に伴い、市内数RCがこの6月で例会場の変更を余儀なくされています。

ここエルティをはじめ、例会場を物色しているRCが多いと聞いています。例会はRCの基礎であり、RIの理念であります持続可能な良い変化を生むために多様性、公平さをアピールする機会ですので、プレゼンスにも影響する会場や位置づけも重要なことと思います。プレゼンスにもそれが会場の変更によって星取り表による年間奉仕事業の経費が例会費を圧迫し、今までのレベルダウンや会費の値上げにつながるのとは本末転倒のような気がします。

我々のRCに対する価値観はそれぞれですが、身の丈を意識すれば自ずと存在意義が見えてきます。

我西RCは、この懸案には関係なく、そしてつつがなく来年度もこの会場で例会を遂行する予定ですが、近い将来降り掛かるあらゆる懸念事項の一つとして、考えるべきでは。

今日はC協議会です。主に来年度奉仕事業の予習の様なもの。議論のほどよろしくお願いします。

◇幹事報告 高 橋 智 弘 幹事

○例会変更のお知らせ

- ・次週22日(月)の例会は理事会承認休会となっております。
- また29日(月)の例会は当初お昼の通常例会でしたが、18時30分より夜間例会へと変更になっておりますので、よろしくお願いいたします。

○その他のお知らせ

- ・5月ロータリーレートは1ドル136円となっておりますのでお知らせいたします。

委員会報告

◇プログラム・出席・スマイリングBOX小委員会 渡 辺 敬 藏 会員

○梅津一匡会員＝今度の日曜は、ふくしまシティハーフマラソンが開催されます。午前中、お出かけの予定のある方は、一時通行止などにご注意ください。

○久米允彦会員＝一昨日の地区研修・協議会参加の皆様、ご苦労様でした。

○宮崎秀剛会員＝本日もよろしくお祈りします。

○渡辺敬藏会員＝地区研修・協議会へのご参加ありがとうございました。

———地区研修・協議会報告によせて———

- 高梨哲男会長 ○朝倉久仁男会員 ○大平謹一郎会員
- 黒澤信之会員 ○佐藤卓立会員 ○高橋智弘幹事
- 寺島英樹会員 ○野尻榮一会員

本日のスマイリングBOX集計12件 23,000円
ご協力頂きました皆さん、ありがとうございました。

◇本日のプログラム——地区研修・協議会報告

2023-24地区研修・協議会

○会長部会 会長エレクト 渡 辺 敬 藏 会員



3月15日、福島市「パルセいいざか」で開催された2023-24地区研修・協議会についてご報告致します。

10時から10時40分の予定で会長会が開催されました。

佐藤正道ガバナーの開会点鐘、挨拶、右近八郎ガバナーエレクトから挨拶の後、議事として、①2022-23年度地区大会決算②2023-24年度地区賦課金(案)(詳細はプログラム掲載)③2023-24年度地区予算(案)(同)が提出され、記名投票による採決が行われました。その結果は、議案①②については賛成57、反対1、議案③については賛成58、反対1、棄権1となり、議案は成立しました。なお、全クラブ数は63クラブであり、3クラブが参加しておりません。不参加の理由等についての説明はありませんでした。予定時間を約10分越えての終了となりました。

その後、地区研修・協議会の開会セレモニーが、佐藤正道ガバナーの開会点鐘により開会され、国歌斉唱、ロータリーソングの斉唱の後、古俣実行委員長挨拶、相良福島RC会長の歓迎の言葉、佐藤ガバナー挨拶、右近ガバナーエレクト挨拶、石黒地区研修リーダー挨拶、芳賀次期地区研修リーダー挨拶、

坪井次期地区幹事によるパストガバナー紹介で、セレモニーを終了しました。

12時30分からは、会長部会、米山奨学会、ロータリー財団、会員増強、公共イメージ、社会・国際奉仕の各委員会に分かれそれぞれの方針についての説明があった。

閉会セレモニーは、右近ガバナーエレクトの御礼の言葉、渡辺健寿地区大会委員長の地区大会のご案内、次期ホストクラブの国府田郡山北RC会長挨拶の後、佐藤ガバナーによる閉会点鐘により閉会しました。

以上、地区研修・協議会についての流れについて書きましたが、以下に2023-24年度の地区運営方針についての右近ガバナーエレクトの考え方を記載します。

右近ガバナーエレクトは、RIテーマ“CREATE HOPE in the WORLD”「世界に希望を生み出そう」を受けて、地区方針を以下のように策定しています。

地区方針は、機能体の側面からその持続性の確保を目的として、

1. 効率的な地区運営の推進とリスク管理の強化
さらに、共同体の側面から会員の精神性の充実を目的として、

2. 楽しいロータリー活動と研鑽

としています。

また、地区スローガンは

ENJOY the ROTARY PRIDE !

ロータリーの誇りを楽しもう !

としています。

「ロータリーを楽しもう」ではなく「ロータリーの誇りを楽しもう」です。

次に各部会に分かれてのセッションⅠ、Ⅱについて記載する。

セッションⅠでは、右近ガバナーエレクトによる「会長の役割と責務」、佐藤正道ガバナーによる「危機管理」、セッションⅡとして、石黒次期戦略計画委員長による「戦略計画委員会」、平井義郎PDGによる「機能体としての運営管理」について説明があった。

「会長の役割と責務」では、「会長は、まず話ができること」であり、「共同体として機能するよう運営すること」であるとのこと。

「危機管理」は、自然災害、パンデミック、ハラスメント、個人情報保護などに対する危機管理があるが、特に青少年保護に関するハラスメントへの対応が必要である。

「戦略計画委員会」は、まず、現在の立ち位置、将来の先行と目的、いかなる行動をとるか、すなわち、ミッション・ビジョン・ポジションから戦略計画、実行、確認・評価・修正を行う。

「機能体としての運営管理」は、地区事務所運営について、地区運用マニュアルの作成、地区役員、委員長の権限と役割の明確化などを行い、機能体としての運営管理をする。

以上

○青少年奉仕委員会



久米 允 彦会員
一昨日、4年ぶりの対面方式での地区研修・協議会に参加してきました。やはり、リモート会議とは違って研修・協議の実感があり、久しぶりにお会いできた方とお話ができたりで、ロータリーのミーティングのすばらしさを感じて参りました。私は「青少年奉仕委員会」の分科会に参加しましたが、内容は以下の通りでしたのでご報告致します。

例年と大きく相違したのがローターアクト委員会が別組織(4大奉仕委員会ではない)となったことです。これはRIの方針で変更されたとのこと。地区委員長の木和彦氏(須賀川RC)の全体説明に引き続き、インターアクト担当地区委員、ライラ委員会担当委員、青少年交換担当委員、各種イベント参加による基盤の拡大支援の説明がありました。2023-24年度には第2530地区で「第4回青少年会議」が開催される予定があり、各クラブの支援・協力の要請がありました。以上ご報告を致します。

○米山記念奨学会委員会



高橋 智 弘幹事

米山記念奨学会委員会では、奨学生受け入れ人数は、2年前の寄付金総額によって人数が決められていますが、前年度は17名でしたが、今年度は2年前の石黒ガバナー年度で寄付額が多かったことで、2530地区では21名の受け入れが決まっています。今年度事業として、2021学年度以来3年ぶりとなる米山梅吉記念館への研修旅行を、9月2日～3日に実施予定です。また、2017年から2年に一度世界から学友が集まる「集い」が、再会in関東としてつくば市で開催されます。2017年には感謝in熊本、2019年には絆inモンゴル、2021年には出会いin台湾(コロナで中止)が開催されました。

当クラブでは、前年度がハーさん、今年度より2年間でケイショウゲン君を、奨学生として預かります。会員の皆様、ご協力お願いします。

○他に、幹事部会・会員増強委員会・公共イメージ委員会・職業奉仕委員会・社会国際奉仕委員会・ロータリー財団委員会から報告をいただきました

◇クラブ協議会

*年度の実績と完了度合い、問題点等の反省協議

◇閉会点鐘

※会報カメラ担当

高 梨 哲 男会長

梅 津 一 匡会員